

# オトバンク、読書バリアフリーと 教育格差解消を目指す 「耳の図書館プロジェクト」を開始

## 企業の CSR 活動と連携。 オーディオブック提供を通じて「読書の自由」を拡大

日本最大級のオーディオブック配信サービス「audiobook.jp」を運営する株式会社オトバンク（本社：東京都文京区、代表取締役社長：久保田裕也、以下「オトバンク」）は、視覚障害者や経済的理由により学びの機会が限られている子どもたちへ、オーディオブックによる読書体験を届ける共同プロジェクト「耳の図書館プロジェクト」を始動いたします。本プロジェクトは、企業の CSR・サステナビリティ活動と連携し、身体的・経済的な制約を越えた「読書の自由」を社会に広げることを目指します。



### ■「耳の図書館プロジェクト」とは

「耳の図書館プロジェクト」は、オーディオブックを通じて、教育格差や情報アクセスの壁を解消する CSR 共同プロジェクトです。参画企業からの支援金を活用し、オトバンクが本プロジェクト限定の特別価格でオーディオブック利用権を提供することで、支援のインパクトを最大化。

障害者団体や NPO などの支援団体を通じて、経済的理由で学習機会が限られる子どもたちや、視覚障害などにより紙の本を読むことが難しい方々へ、オーディオブックを提供します。

「耳の図書館プロジェクト」の資料請求・問い合わせはこちら  
<https://www.otobank.co.jp/wellbeingpartnership>

### <支援が届くまでのプロセス>

企業様の参画決定後、オトバンクが最適な支援団体とのマッチングを提案します。支援対象者には、オーディオブックを 1 年間自由に楽しめる「耳の図書館」利用権が発行され、日々の学びや楽しみとして活用いただけます。

## 報道関係者各位

&lt;現在のパートナー支援団体&gt;

・株式会社ミライロ



## MIRAIRO

「バリアバリュー」を企業理念とし、障害のある当事者の視点から、社会におけるバリア（障害）をバリュー（価値）に転換するインフラやソリューションを提供しています。デジタル障害者手帳「ミライロID」によるインフラづくり、企業等への研修、リサーチ&コンサルティング支援を軸として障害者とその家族が今日を楽しみ、明日を期待できる社会を実現するための事業展開を行っています。

・特定非営利活動法人エッジ NPO EDGE



## NPO法人 EDGE

NPO 法人エッジはディスレクシアの正しい認識の普及と支援を目的とした特定非営利活動法人として、2001年10月に認定設立され活動しています。ディスレクシアは知的に問題が無く、聴覚・視覚の知覚的機能は正常なのに、読み書きに関しては特長の有るつまずきや学習の困難を示す症状のことを言います。ディスレクシアの全ての人が生き活きと暮らせる社会を目指します。

## ■プロジェクト発足の背景

深刻化する「情報格差」と「教育格差」現在、日本社会には「耳で読む読書」を必要とする深刻な課題が存在しています。

## ① 子どもの貧困と学習格差

厚生労働省の「2022（令和4）年 国民生活基礎調査」によると、日本の17歳以下の子どもの貧困率は11.5%に達し、約9人に1人が貧困状態にあるともいわれています。また、世帯年収の差は学校外教育費（補助学習費）の約4倍の開きとなって現れており（※）、経済力が直接「学びの量」に直結してしまっている現実があります。

※. 文部科学省「令和5年度子供の学習費調査」における世帯年収400万円未満世帯と1200万円以上世帯の補助学習費の比較

## ② 視覚障害者・読書困難者の情報アクセス

厚生労働省「令和4年生活のしづらさなどに関する調査」によると、日本の障害者総数は人口の約9.3%にのぼり、中でも視覚障害者は紙の書籍を中心とした情報社会において深刻な情報格差（デジタル・ディバイド）に直面しています。2019年には「読書バリアフリー法」が施行されましたが、依然としてすべての人が等しく文字・活字文化を享受できる環境整備が急務となっています。

## ■「耳の図書館プロジェクト」で目指すこと

本プロジェクトは、オーディオブックを活用することで「読書＝目で文字を追う」という固定観念を解放し、多角的なウェルビーイングを向上させます。

## 報道関係者各位

- ・**身体的価値** 視力低下や身体的負荷によりページをめくることが困難な方でも、耳を通じて読書に没頭できます。
- ・**精神的価値** 「本が読めない」という喪失感を「読める」喜びへ変え、知的好奇心を満たすことで自己肯定感の向上に寄与します。
- ・**社会的価値** 共通の話題によるコミュニケーションや、学習を通じた就労・進学のコツを伝え、社会とのつながりを強化します。

## ■今後の展開

オトバンクは今後も、読書バリアフリーや教育格差の解消に向けて、オーディオブックを通じた取り組みを広げていきます。視覚障害や学習環境の違い、忙しさなどにより読書機会が限られる人にも本の楽しさを届け、「誰もが読書を諦めなくてよい社会」の実現を目指してまいります。

## ■オーディオブックとは



オーディオブックとは、ナレーターや声優が本を朗読した「聴く本」です。耳だけで読書を楽しめるため、文字を読むのが難しい方のほか、ランニング中、電車や車での移動時間、家事の最中など、生活のあらゆるシーンで「ながら読書」を楽しめます。

近年、スマートフォンやワイヤレスイヤホンの普及で音声コンテンツの利用環境が急速に整ったことや、定額で様々な作品が聴き放題となるサブスクリプションプラン導入などを背景にオーディオブックの利用者が急増。現在、オーディオブックは、紙、電子書籍に続く、第3の書籍として広がりつつあります。

【参考】オーディオブック制作の様子からおすすめ作品までわかる！「まるわかり！オーディオブック」  
<https://bit.ly/3Xg8mFJ>

## ■audiobook.jp（オーディオブックジェイピー）



audiobook.jp

株式会社オトバンクが運営する、日本最大級のオーディオブック配信サービスです。

2007年より配信を開始した「FeBe」からリニューアルし、2018年3月よりサービスを開始。オーディオブックのカテゴリー普及に向けてプラットフォームの拡大を目指します。2024年2月に会員数が300万人を突破。 <https://audiobook.jp/>

<audiobook.jp 法人版に関するお問い合わせ>

○お問い合わせフォーム：<https://audiobook.satori.site/contact>

○「audiobook.jp 法人版」特設サイト：<https://business.audiobook.jp/>

## ■株式会社オトバンク（本社：東京都文京区、代表取締役社長：久保田裕也）



「聞き入る文化の創造」を掲げ、2004年に創業した音声プラットフォーム企業です。日本最大級のオーディオブック配信サービス「audiobook.jp」を運営し、数万点に及ぶオーディオブックの制作・配信を展開しています。創業の原点は、創業者・上田の祖父が緑内障を患った経験から、耳でも読書が楽しめる世の中にしたいと考えたことにあります。現在は、企業のブランド価値を高めるポッドキャストの企画・制作や、人材育成を支援

する法人向け音声サービスなども展開。読書バリアフリーの推進や「耳活」という新たなライフスタイル提案を通じて、音声が生み出す豊かな社会の実現を目指しています。

<https://www.otobank.co.jp/>